

(様式2)

**令和5年度 福祉体育館及び体育施設等施設指定管理者
モニタリングレポート(年次評価報告書)**

施 設 名	豊明市福祉体育館及び体育施設等
指定管理者名	シンコースポーツ中部株式会社
指 定 期 間	平成31年 4月 1日 ～ 令和6年 3月31日 (R5度・5年目)
所 管 課	生涯学習課

1 業務履行の確認・評価

年次評価	
適正な施設の運営・維持管理が行われているか。	A
【施設の運営に関する基本的事項】 ・ 関係者を含めた避難訓練を年2回行い、福祉避難所として防災意識を持っている。 ・ 業務日報を毎日記録し、都度見返して業務の改善に役立てている。 ・ 大会や施設予約受付開始日などには人員を多く配置するなど工夫している。 ・ 自主事業としてヨガ教室などを開催し、利用人数は昨年度に比べ福祉体育館で115.1% 体育施設で107.8%となっている。 【自主事業に関する事項】 ・ 昨年度人気の高かったヨガ教室を今年度も行い、盛況であった。 ・ 自主事業の最終日に参加者アンケートを行い、要望等を集約し事業改善に活かしている。 ・ 全ての自主事業において感染症予防対策を適切に行った上で実施をした。 【施設の維持管理業務に関する事項】 ・ 定期点検を実施し、必要に応じて修繕をするなど安全に利用できる施設の維持に努めている。また、定期整備以外に、必要に応じて自社作業にて除草作業やグラウンド整備を行なうなど、経費削減に努め、施設を良好な状態に保てるよう努めている。 ・ 老朽化により様々な箇所で支障が発生するものの、それを適切に利用者に注意喚起し、安全管理に努めている。 ・ 消耗品についてグリーン購入に努めており、適切に補充しているため利用者から消耗品の不足について指摘されることはない。	

2 サービスの質に関する評価

提供するサービスの水準が確保されているか。 また、サービスの向上が図られていたか。	年次評価 A
【利用者アンケート(満足度調査)に関する事項】 調査の概要 9月、3月に来館者を対象に施設や職員に対する満足度のアンケートを実施した。 9月実施時回答者は133名、男性41%、女性59%、年齢層は40代以上が多かった。 3月実施時回答者は98名、男性24%、女性76%、特に70代以上が多かった。 また、常時意見箱を設置し、寄せられた意見に対する回答を公表のうえ改善に努めている。 調査結果の概要 - アンケートの結果、全ての項目で普通以上が86%以上となった。 - またやや不満以下が10%以上の設問はわずかであり、利用者からの評価は比較的高水準であるといえる。 - 自動車での来館が一番多く、自動車で30分以内で来館できる人が80%以上であった。 【自主事業に関する事項】 - ヨガ教室が好評を博しており、教室数の増加を検討している。今後も市民ニーズを把握し、盛り上がる教室等の開催が期待される。 【サービス水準や利用環境に関する事項】 - 業務上の問題点が露見した場合、スタッフの研修を実施するなど問題点の解消に向け努力している。 - 洋式トイレに便座消毒液設置を行うなど、衛生環境の強化を図っている。 - 勅使グラウンド駐車場での火災他3件の事故等があったが、適宜報告し適切に対応された。	

3 サービス提供の継続性・安定性に関する評価

健全な収支状況のもと、継続的・安定的にサービスが提供されているか。 また、団体の経営状況は健全か。	年次評価 A
【施設の収支状況に関する事項】 ・ 例年のように社会福祉法人豊明福祉会の方が作った焼き菓子や、焼き芋の販売等物販に力をいれ、収入増加の取組を行った。リピーターも多く利用者からも好評である。 ・ 教室収支を見直し各種受講料の改定を実施した。 【団体の経営状況に関する事項】 ・ 第7期(2023年4月1日～2024年3月31日)の売上高は6億5千2百万円あり、前期より増加している。 ・ 売上原価は前期より減少している。売上原価の勘定科目では水道光熱費が前期より減少していることが目につく点である。 ・ その結果、売上総利益金額は前期より増加している。販売費及び一般管理費の合計は前期より増加している。したがって、営業利益金額は改善がみられる。 ・ 税引後当期純利益金額も、以前数年間に比して好ましい状況となった。 ・ 貸借対照表の純資産の部合計も回復傾向にある。	

総合評価	A	【審査委員会コメント】 利用者からの要望に応えつつ、安定したサービスが提供されている。前年は時勢的要因によって赤字でしたが、令和5年度は黒字に転換した。引き続き、ノウハウを生かし利用者の利用しやすい施設を目指しつつ、利用者に喜ばれるサービスの提供をしていただきたい。
------	----------	---

【年次評価】 (評価基準)

- S (優良) : 区分評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
A (良好) : 区分評価が全てA以上。
B (課題あり) : 区分評価にBがあった。
C (要改善) : 区分評価にCがあった。

【総合評価】 (評価基準)

- S (優良) : 市の要求水準を上回るサービスが提供されている。
A (良好) : 市の要求水準に沿ったサービスが提供されている。
B (課題あり) : サービスの内容の一部に課題がある。
C (要改善) : サービスの内容に改善が必要である。

(目安)

- 年次評価が全てA以上、かつSが2つ以上。
年次評価が全てA以上。
年次評価にBがある。
年次評価にCがある。